

よしみ

議会だより

26年12月定例議会

この議会だよりは再生紙を使用しています。

○議案審議結果

○一般質問に10名登壇

○閉会中の所管事務調査

…P2～

…P7～

…P14～

12月定例会は、12月2日から5日までの4日間の会期で行なわれました。

今定例会は、平成26年度一般会計及び特別会計補正予算、新規条例及び一部改正等10議案、すべて可決、認定、同意されました。

ごみ処理

埼玉中部資源

※写真は現在の埼玉中部環境センター

■議案第71号 埼玉中部資源循環組合の設立について

主な質疑

問

広域で行う理由は。

答

県の広域基本計画に基づく効率の良いごみ処理を行うため。

問

建設に向けて、具体的には。

答

基本計画の策定、測量、地質調査、環境調査等を行っていく。

議員

提出者

場建設へ

循環組合設立

平成27年4月1日から、東松山市・桶川市・滑川町・嵐山町・小川町・吉見町・ときがわ町・東秩父村の可燃ごみ及び粗大ごみ処理施設の建設及び管理運営、事務を共同処理するため一部事務組合を設立。

規約により 組合議会の議員の定員は20人で吉見町からは3人となった。

議員

問

大串地区に建設するということは、裁判になることが目に見えているが、建設地の自治体として、今後関与して行く考えはあるか。

答

町として最大限努力していき、方向性が決まったものは、随時お知らせをしていく。

提出者

反対討論

日本共産党 杉田しのぶ議員

議員

現在の建設地は、中部環境保全組合(管理者吉見町長)と当時反対した住民側の双方が、裁判所の和解を受け入れ「ごみ処理施設を新設又は増設しない」ことを条件に、中部環境センターが建設をされた地。この経過からみても、この地に再びごみ処理施設を建設するということは、住民側の納得が得られない。一部事務組合が立ち上げられれば、施設建設に向けて具体的に動き出すため、このまま進めていくことは認められない。また、環境面から考えても、広域でごみ処理を行うことには賛成できない。

主/な/議/案/の/内/容

※質疑等があった議案を掲載しています。

■議案第73号

吉見町長及び副町長の給与等に関する条例及び吉見町教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例

内 容

人事院勧告による勤勉手当の0.15%の引き上げ

主な質疑

問

一般職と違うが、どの様に考えたのか。

答

特別職の三役についても人事院での勧告で同等になっているので、合理的に考えた。

問

町長・副町長・教育長はこの改定により、それぞれいくら増額になるのか。

答

勤勉手当が0.15月増により
町長 12万4560円・副町長 10万7460円
教育長 10万1700円 増額になる。

反対討論

日本共産党 杉田しのぶ議員

町長・副町長・教育長は、その職責に応じた一般職職員以上の給料が支払われている。また、人事院勧告は、国家公務員の一般職職員を対象にした調査の結果であり、その結果を給料額の違う三役にあてはめるといのは、正しい対応ではないと考える。

■議案第74号

吉見町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

内 容

人事院勧告による勤勉手当の0.15%の引き上げ

主な質疑

問

今回の改定により、議員についてはそれぞれいくら増額になるのか。

答

勤勉手当が0.15月増により
議長 5万5260円・副議長 4万4460円
委員長 4万3560円・副委員長 4万1760円
議員 4万4100円 増額になる。

反対討論

日本共産党 杉田しのぶ議員

現在の議員報酬では、限られた人材しか議員に立候補することが出来ないという問題もあるが、そうした問題は、町民の意見を聞く機会を設けて、丁寧に進めていくことが必要と考える。

議員の期末手当の引き上げについては、三役同様人事院勧告と連動させるというのは正しい対応ではないと考える。

小宮 榮議員

賛成討論

私が議員になった時は22名いたが現在は14名に減してきた。報酬も上がることはなく、下がってきた。人事院勧告に基づいてやるのはおかしい。もっと上げるべき。三役の報酬も上げた方がよい。それなりに町として成果を上げている。決して多いとは思っていない。

■議案第76号 吉見町一般会計補正予算(第4号)

既定の予算額にそれぞれ3963万円を追加し、予算の総額を75億7971万1千円とするものです。

一主な歳入一

(万円単位に四捨五入)

○国庫支出金	2957万円
○県支出金	975万円
○諸収入(緑の募金)	31万円

一主な歳出一

(万円単位に四捨五入)

○旧前河内保育園 土地鑑定及び測量委託料	98万円
○障害者自立支援給付費等	2839万円
○県・町単独土地改良事業	960万円
○庁舎雨漏り修繕工事	80万円
○システム共同化関連	131万円
○道路照明灯電気料	91万円
○防犯灯維持管理補助金	86万円
○横見ポンプ修繕料	70万
○生徒選手派遣費	148万円
○私立幼稚園就園奨励費補助金	64万円
○教育施設関係光熱水費	366万円
○フレサ音響修繕料	74万円
○植栽委託料(ふれあい広場)	31万円
○町民体育館自動ドア改修工事	260万円
○財政調整基金積立金(取り崩し)	△1399万円



旧前河内保育園

主な質疑

問

旧前河内保育園の測量及び土地鑑定委託料は来年度の当初予算でも良いのでは。

答

スケジュールに沿って年度内が目標のため補正をお願いしたい。

問

地元説明会は実施するのか。また、審査員の人選と地元の人の参加は。

答

予算が承認されれば事業化に入るので、説明会も必要になると考えている。また、町の職員を中心に要望があった地元の人も検討していく。

問

子育て支援課の課長補佐が欠けているが支障はないのか。

答

大きな支障ですが、不測の事態でみんなでも補っている。

議案審議結果

町長提出議案

議案番号	件名	結果	秋山	奥村	伊与田	尾崎	神田	荻野	岩崎	安孫子	宮崎雄	杉田	小林	内野	小宮
議案第71号	埼玉中部資源循環組合の設立について	可決	●	×	●	●	●	●	●	●	●	×	●	●	●
議案第72号	吉見町一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
議案第73号	吉見町長及び副町長の給与等に関する条例及び吉見町教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	可決	●	×	●	●	●	●	●	●	●	×	●	●	●
議案第74号	吉見町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決	●	×	●	●	●	●	×	●	●	×	●	●	●
議案第75号	動産の買入れについて	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
議案第76号	平成26年度吉見町一般会計補正予算(第4号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
議案第77号	平成26年度吉見町下水道事業特別会計補正予算(第4号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
議案第78号	平成26年度吉見町農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
議案第79号	平成26年度吉見町公設浄化槽事業特別会計補正予算(第3号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
議案第80号	平成26年度吉見町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
請願第2号	年金削減の中止に関する意見書の提出を求める請願	不採択	×	●	×	×	●	×	×	×	×	●	×	×	×

追加

議案第81号	平成26年度吉見町一般会計補正予算(第5号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
--------	------------------------	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

請願 年金削減の中止に関する意見書の提出を求める請願

提出者 全日本年金者組合埼玉県本部
吉見支部 支部長 福田 稔
紹介議員 杉田しのぶ

項目 1.年金のさらなる削減を中止すること。
2.年金削減の仕組み「マクロ経済スライド」を廃止すること。

問 マクロ経済スライドの詳細は。

答 物価や賃金の上昇よりも、年金の上昇率を抑えるもので、少子高齢化が進むほど調整率が大きくなり、現在は0.9%とされている。

問 マクロ経済スライドの発動で、毎年年金が0.9%削減されるようだが、今後の動向は。

答 厚生労働省によれば、今後一定の経済成長を見込んでも、年金の給付水準は30年後には最大3割減ると見込まれている。

問 4月から消費税が8%になり、年金生活者は大変である。請願を提出する上で、町の年金受給者の声は。

答 「消費税も8%になり、電気や生活必需品も値上がりし、本当に厳しい。少ない年金で夫婦細々と暮らしてきた。これ以上の減額はやめてほしい。」「年金通知をもらうたび減額の知らせ。年をとり、病院への費用もかかり大変。」等、悲痛の声を多く伺っている。

請願は常任委員会付託を省略し、本会場で即決で審議され、賛成少数で「不採択」となりました。

町政に対する 一般質問



そこが聞きたい

こうしてほしい

一般質問とは？

「一般質問は、議員が町政全般について、自由なテーマで町長に質問・政策提言を行うもの」で、町民の声を町政に届けるものです。(持ち時間1人60分)

議会だよりでは、その内容を約700字以内で要約しお知らせしています。



人口の減少に 歯止めを

» 小宮 榮 議員

問 町としての対策は、中央市街化区域への転入を
考えていないのか。道路整備も良いが、下水道を取
入れないと転入して来ない。

農地を宅地化する許可を緩和したらどうか。

答 定住化の促進に向け、平成26年度から「子育て
世代定住化促進奨励金」が始まりました。中央市街化
区域の土地利用が図られるよう、整備に努めてまい
ります。また農地の宅地化には、県の許可が必要とな
りますが、現在、農地法の緩和はありません。

問 道の駅と出店組合との契約について。通路にト
ラック、物を置いてあるが契約外の場所を使用してい
るが、文書を持って注意するよう。

答 指定管理者と協議し、口頭による注意を行って
おりますが、引き続き道の駅構内の更なる安全対策を進
めるとともに、注意事項の遵守がなされなかった場合

の措置を含め、文書による注意についても指定管理
者と協議、検討してまいります。

問 農地法の許可について、国・県から移譲できるも
のではないか。

答 農地法による転用許可は、国及び県が行いま
すが、町への権限移譲の予定は現在ありません。

問 米余り対策について、町として販路に協力できな
いのか。

答 地産地消の観点から、学校給食に吉見産米を取
り入れております。町として販路拡大は出来ませんが、
米まつりや夕焼け市などで、PRや販売などに協力し
消費拡大に努めております。





いちご苗の炭そ病対策は

» 荻野 勇 議員

問 津南町で育苗したいちごの苗で作付した圃場に炭そ病が多発している。その原因は。

答 炭そ病は風雨により感染するため、現地での天候不順や露地栽培等の条件により感染が拡大したと考えられます。

問 津南町から供給された苗の炭そ病の被害調査はしているか。

答 吉見町いちご組合連絡協議会が聞き取り調査した結果では、6万700本のうち半数を超える被害があったとのこと。



炭そ病被害の状況

問 今後の炭そ病に対する対策はどのように考えているか。

答 次年度以降、苗の病害を回避できるよう比企いちご連絡協議会では、雨よけハウスの設置等といった対策を検討しています。

問 変わる介護保険制度における費用負担は、見直しによりどのように変わるか。

答 低所得者の保検料軽減は拡充され、所得や資産のある利用者の負担は引上げられる。介護保険サービスの利用者負担は、一律1割から所得が280万円以上ある人は2割とする案が示されております。

問 新規の特別養護老人ホームへの入所対象者は原則要介護3以上に限定される。要介護1・2の人で在宅介護が難しい人はどうなるのか。

答 地域で安定した生活を続けることが困難な場合など、やむを得ない事情に該当する場合は新規入所する事も可能とされています。

その他の質問

・*ロコモ予防などの介護予防事業及び第6次介護保険事業計画は。

*ロコモとは運動器の障害のために移動機能の低下をきたした状態。



地域防災力の向上を

» 公明党 秋山 真美 議員

問 災害対策基本法の改正をうけ、本年4月に地区防災計画制度が策定された。地区防災計画は、地域の防災力の向上が期待されるが、町の取り組みは。

答 有効活用ができると考えている。策定に向けた周知・啓発に努め、助言・協力をを行い、策定の促進をする。

問 避難所運営を図上で行う、*HUGの活用を。

答 住民が避難所運営の難しさを体験することのできる図上訓練を経験することは、非常に有効な手段である。HUGを含めた図上訓練の周知と、訓練実施時には、助言や必要品の貸し出しなど支援する。

問 避難所としての学校施設の充実を。改修や改善の対応は。

答 段差の解消、トイレの洋式化、テレビ配線、網戸設置など、設備の整備状況はさまざまである。今後、必要な機能面の確保などについては、避難所対策担当の

総務課と協議する。

問 教育委員会が提唱する「町民みんなが1スポーツ」の取り組みは。

答 町民の健康・体力・交流の場づくりのため、各種スポーツ大会や教室を開催している。

問 スポーツ団体のホームページ掲載内容を詳細に。

答 工夫し充実させていく。

問 健康マイレージは、県のホームページで健康長寿の先進的な事例として紹介されている。健康長寿の住民が増えれば、医療費や介護費の抑制にもつながる。健康マイレージ制度の導入を。

答 導入については、研究する。

*HUGとは図上訓練として災害時の避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲーム。



悠々館ののこにこ体操教室

吉見町の人口構成と健康寿命を延ばす取り組みを

» 尾崎 豊 議員



問 吉見町の人口構成について、生産年齢前後の割合から見る今後のまちづくりは。

答 少子高齢化の進行に伴い、年齢別の人口分布は釣鐘型からつぼ型に近づいていくなると言われています。社会環境に対応した町づくりに努めていきます。

問 障害者への支援方法と雇用は。

答 障害者総合支援法に基づく福祉サービスの提供をはじめ、医療費に係る一部負担の助成や地域で安心して生活できるよう様々な支援を行なっています。

問 障害者のスポーツ教室は。

答 障害者がスポーツをすることは、機能訓練や健康維持につながり社会参加の手段としても有効なものと考えます。

問 今後の結婚相談事業をどう考え取り組むのか。

答 きめ細やかな相談に乗れる体制づくりを更に進

め、結婚相談事業の充実を図っていき、婚活イベントについても多くの出会いの場を提供するとともに創意工夫を凝らし、多くの方に参加していただけるよう工夫していきます。

問 吉見百穴・松山城跡の今後の活用は。

答 吉見百穴・松山城跡とも吉見町に残された貴重な文化財です。郷土の歴史を学ぶ場として、史跡を活用していきます。

問 松山城跡の補修と遊歩道の整備を。

答 今年度は城跡の土地鑑定を実施し、公有地化に係る概算額を算定する予定です。城跡の公有地化につきましては、国庫補助事業ですので補助金を活用しながら、協議を行い計画的な城跡の公有地化を目指し、その後に整備について検討して行きます。



吉見町の人口減少対策は

» 岩崎 勤 議員



問 町の人口も2万人を下まわろうとしている。人口減少によってあらゆる影響が予想されるが、町はどのような考え方をしているのか。

答 地域社会にマイナスの影響を与えることが予測されますので、町の将来を考える上で、その抑制に努めていかなければならない課題であると認識しており、さまざまな分野で対策を講じています。

問 国の地方創生戦略の取り組みがなされていくと思うが、町としての取り組みは。

答 より住み良い町を創造することが、人口減少対策につながるという認識から、暮らしや環境・産業と雇用・医療や福祉などといった分野で、さまざまな施策を展開しています。今後も国の補助制度をできるだけ活用しながら調査研究してまいります。

問 商工会への事業に支援することによって地域振

興に直接効果があると思うが支援強化する考えは。

答 観光PR事業八丁湖ヒーリングナイトや願い事キャンペーンなどのイベント事業や町のB級グルメ「あぶら味噌」の普及及びPR活動「吉見いちご」を使用したお土産スイーツの販売等、町の振興につながる取り組みを行っていただいております、町との関係を強化してまいります。

問 道の駅の整備計画の内容は。

答 周辺の拡張も含めて道の駅全体の賑わい作りの検討を進めておりますが、道の駅による地方創生拠点の形成のためのモデル地区の募集が行われておりましたので、この事業に対し、企画提案を行っております。



八丁湖ヒーリングナイト



地域力で 高齢者対策を

▶▶ 小林 周三 議員

問 経済や社会情勢の変革によって、地縁、血縁などのつながりが急激に失われ、それらが吉見町の長寿社会に与える影響は大きく、ひとり暮らしの高齢者世帯が増えていると思うが現状は。

答 年に1度、65歳以上の高齢者を対象とした状況調査を災害時要援護者登録申請とあわせて行っている。その結果、今年1月1日現在でひとり暮らしが349人で、65歳以上人口の約6.8%となっている。

問 字別の高齢者人数について把握しているか。

答 高齢者の人数は字別で7名から74名で、全体的な高齢化率も5人刻みで10年前が6人に1人、5年前が5人に1人、現在が4人に1人、これから先5年後には3人に1人が高齢者になる。

問 民生委員の担当する世帯数は。

答 民生委員が担当する世帯数は92世帯から316

世帯。区割りでお願いしている。

問 民生委員の活動費は足りているか。

答 活動費ということで県の補助金を含め、町から1人当たり年間7万2千円の活動費。また、定例会議等を実施した際には1回千円実費弁償を支払っている。

問 社会福祉協議会が行っているふれあいサロンを地元の集会所単位でできないか。地域の集会所で細かくやると、地域のお年寄りも自分の集落の中で非常に通いやすい。昔から顔がわかっている人たちが集まってお茶のみができる、そういうことが大事。そのための予算は、町として考えられないか。

答 できればそういうふうな取り組みというのは地域の方々で集まっていただいて、地域の方々が主体的になってやっていくことを軸に進めていきたい。



赤十字奉仕団による交流会

医療費削減の 観点から



▶▶ 公明党 安孫子和子 議員

問 高齢者肺炎球菌ワクチンは、今年10月から定期接種となり、自己負担額は5千円だが、県内63市町村のうち41市町は5千円未満である。自己負担額を引き下げる考えはあるか。

答 今後、管内市町村で設置している予防接種会議等で協議することも必要であると思っている。

問 定期接種化されたことにより対象者は5歳刻みとなった。任意接種の助成事業を継続すべきと考えるが見解は。また、継続しない場合の対応は。

答 他の任意接種が定期接種化された際と同様に、任意接種は平成26年度で終了する。定期接種該当外の方には、年度内の接種勧奨を進めます。

問 「子育て世代定住化促進奨励金」事業の進捗状況と課題は。

答 11月末日現在、新築14件、中古3件で中古住宅

が少ない状況である。転居の状況は町内から町内が9件、町外からは2件、Uターンが6件であり町外からの転入を促進できればと考える。

問 教師用パソコンは足りているのか。

答 2人に1台で融通しあいながら使用している。

問 校内LAN整備、大型テレビの電子黒板導入の計画は。

答 国の計画では無線LANや電子黒板等の環境整備が位置づけられており、調査研究する。

問 学校のトイレの洋式化の計画は。

答 使用頻度の高いトイレを優先して洋式化してきた。大規模改修を含め計画的に推進していく。

その他の質問

・空き家バンクの検討及び保育所の受け入れ体制は。



電子黒板

小・中学校の 物品について

▶▶ 神田 隆 議員



問 町内の小・中学校の校章と校旗の使用年数及び購入方法は。

答 校章は開校時に制定され、昭和29年の町村合併時に各小学校名が改称されています。校旗は昭和44年から昭和57年にかけて、各小学校とも地域の方から寄贈され使用しています。吉見中学校の校章は、昭和33年の統合時に公募により制定されています。近年では、平成6年に西が丘小学校の校章を公募により選考し制定しています。各学校とも大切に管理、使用しています。

問 小・中学校での二宮金次郎像の設置状況及び管理状況また教育での扱いについては。

答 町内では、東第一小学校、南小学校、北小学校の3校に像が設置されています。また、教育の場では、総合的な学習の時間において、二宮金次郎の逸話やそ

の像を題材とし、調べ学習に取り組む児童もいます。

問 各学校での理科実験用薬品類及び器具の保管・管理や安全指導、廃棄物処理状況は。

答 理科実験用の薬品は準備室で、器具については理科室や準備室において各学校ともに保管庫に鍵をかけ、薬品管理簿を作成した上で、現有数を把握するなど適正に管理をしています。近年では、平成25年度に東第一小学校の薬品保管庫を買い替えています。各小中学校とも適正に保管、管理し必要に応じて随時廃棄処分を行っています。各学校とも事前準備を確実にし、安全指導を徹底しています。



南小学校の二宮金次郎像

自衛隊員募集の 情報提供は

▶▶ 日本共産党 奥村 栄昭 議員



問 防衛省は全国の地方自治体に自衛隊員募集のために適齢者の住所・氏名・年齢などを照会したとの一部報道があった。

吉見町への照会があったのか、また町の見解を伺いたい。

答 防衛省が全国の自治体に対して行った自衛隊員募集の為の適齢者の情報についての照会は、自衛隊埼玉地方協力本部長から「適齢者情報の提供について」の依頼があり、必要な



情報を提供している。町としては自衛隊法第7条及び同法施行令第120条に基づく法定受託事務として、自衛官の募集を円滑に行う為に国からの通達及び県の依頼により対応している。

問 情報提供は最近始まった事ではないと考えられるが、政府が集団的自衛権の行使を容認する閣議決定した7月1日、全国の高校3年生の自宅に自衛隊員募集のダイレクトメールが一斉に届きインターネット上で騒ぎになったと、10月6日付の東京新聞に記事が掲載された。

吉見町では、自衛隊に提供した情報が高校生あてのダイレクトメールとして利用されたのか、把握しているのか。

答 情報を提供した自衛隊埼玉地方協力本部、熊谷地域事務所に確認したところ「吉見町から提供された情報については、ダイレクトメールには利用していない」との回答があり、新聞の掲載記事とは吉見町は関係ない事を確認している。

その他の質問
・大沼の今後の計画は。



今こそ町の緊急経済活性化対策を

▶▶ 日本共産党 杉田しのぶ 議員

問 住宅リフォーム補助金制度が創設をされて10年が経過をしたが、10年前と比較をして商工会の会員数はどのように推移しているのか。

答 平成16年度は会員数500。平成26年度は473。10年で27の減少である。

問 4月から消費税が8%になったこと。またアベノミクスによって作り出された円安で、原材料や燃料費が高騰し、中小業者の経営が圧迫されている。消費税増税による個人消費の落ち込みは、内閣府が発表したGDPにも表れ、4月～6月期は東日本大震災レベルの落ち込み。7月～9月期も連続してマイナスであり、日本経済が循環していない現状があらわになっている。中小業者への政策として、住宅リフォームの補助率の引き上げを行い、町の経済活性化を行う。これは町長の政治姿勢と言っても過言ではないと思うが、町

長の見解は。

答 町財政の中でやっているの、際限なく上げるということも難しいこと。現行の補助制度の中で、十分機能しているため現状のままでいいと考える。

問 際限なく上げるのではなく、上限額は据え置いて補助率の引き上げを行い、この制度を仕事起こしにつなげる。利用が増えれば効果も発揮され、町としては税収も期待できる。10年前と同じ対策でいいのか、ということで今回質問をしているのである。

答 補助の割合が上がった方が利用者にはいいし、経済効果も確かにあると思うので、今後検討していつてみたいと思う。

その他の質問

- ・介護保険制度・店舗等のリフォーム補助金制度の創設。
- ・新ごみ処理施設の建設について。



町議会を傍聴してみませんか

次の議会は**3月定例議会**
3月上旬から開催される予定です。

詳しいことは町議会事務局までお問い合わせください。
TEL 0493-63-5024 (ダイヤルイン)



傍聴席



埼玉中部環境保全組合議会定例会

» 神田 隆 議員

期日 平成26年10月21日 午前9時から

場所 埼玉中部環境センター議場

吉見町議会から荻野勇議員、杉田しのぶ議員、内野正美議員、神田隆の4名が出席いたしました。

平成25年度4月から9月末までの管内ごみの処理量は、可燃ごみと粗大ごみ合わせて1万9,185.47トンであり、昨年同期と比較しますと227.95トンの減です。他に、大里広域市町村圏組合から4,261.9トン、小川地区衛生組合から43.83トンの可燃ごみを受託しています。次に灰の処理は、合計2,569.9トンをセメント原料として処理委託をしています。また、今年度のダイオキシン類調査結果は、1号炉

0.0016ナノグラム、2号炉0.0031ナノグラム、3号炉0.0011ナノグラムです。それぞれの基準値5ナノグラムを大きく下回る良好な結果とのことです。

一般質問は一名で、主な質疑の内容は「第2期大間処分場の廃止について」であり、適切な答弁がなされました。

○議案第5号 平成26年度埼玉中部環境保全組合一般会計補正予算(第1号)について

○議案第6号 平成25年度埼玉中部環境保全組合一般会計決算認定について

以上、上程されました2議案とも慎重審議のうえ、それぞれ原案のとおり可決、認定されました。

北本地区衛生組合議会定例会

» 秋山 真美 議員

期日 平成26年11月12日 午前9時から

場所 北本地区衛生組合議場

吉見町議会から尾崎豊議員、奥村栄昭議員、秋山真美の3名が出席いたしました。

○議案第4号 平成26年度北本地区衛生組合歳入歳出補正予算(第1号)について

歳入歳出それぞれ3270万3千円を追加し、総額を3億3701万1千円とするものです。

主な歳入は、前年度繰越金3028万1千円と雑入(東電からの賠償金)242万2千円です。

主な歳出は、施設整備基金への積み立て2210万3千

円と脱水汚泥の増量による処理費委託料の増額1060万円です。

また、第2条は、し尿処理施設運転維持管理業務の債務負担行為を追加し、汚泥搬出運搬処理業務の限度額を変更するものです。

上程された1議案は、原案の通り可決されました。

11/18~19 議会行政視察研修(下記写真)が行われました。脱水汚泥の減量化対策に取り組んでいる3施設です。脱水汚泥の減量は、処理委託料が減り、市町負担金の減額にもつながります。



いけのいり環境センター



し尿処理場



龍の郷クリーンセンター

期 日 平成26年10月29日(水)
視察場所 長野県安曇野市社会福祉協議会
目 的 地域公共交通事業

利用者主体の運行体制

長野県安曇野市地域公共交通協議会が運営する通称「デマンド交通あづみん」、14台の乗り合いタクシーを中心とした交通システムについて、研修を実施しました。

限られた予算内で事業を展開するには、利用目的や役割をしっかりと位置付けるなかで、効率的に運行することが大切であると考え、実際に利用する住民の意向要望や既存交通の利用状況を丁寧に調査しました。

「あづみん」は、平成19年から平日8時～17時の予約制の運行を始め、毎年9万人程の利用があり、利用者のおよそ8割が高齢者です。利用料金は大人が1乗車あたり300円、小学生及び障がいのある方が100円、未就学児は



無料で、利用頻度の高い方のため割引回数券を発行しています。利用場所ランキングベスト30は、病院が11か所、福祉施設11か所、スーパー5か所、駅などの交通機関が3か所となっています。交通弱者の利用の目的が、買い物や通院が主であることがわかります。

吉見町では、今後、高齢化が進み、いわゆる交通弱者が増加する中で、町民の意向要望を丁寧に拾い出し、公共交通機関の運行形態等について見直しを含め検討が必要です。



期 日 平成26年10月30日(木)
視察場所 静岡県島田市建設部管理課
目 的 すぐやる係の取り組み

地域の要望に迅速対応

多様化する地域の要望に迅速かつ効率よく対応している島田市のすぐやる係を視察し、要望に対する取り組み方法などについて、研修を実施しました。

市民の立場に立ち、市民生活に直結している道路、水路、河川などの維持修繕と、多様化する市民要望にすばやく対応し、行政を身近で分かりやすいものにしようと、平成14年に「すぐやる係」ができました。

自治会からの要望件数が増加しており、対応できない状況があったため、効率よく事業費を有効活用するため、要望書の見直しを図り、新規改良と維持修繕の2種類としました。



新規改良の要望は、各自治会5件まで、現場の確認と事業関係者の承諾を自治会でとっていただくこととしました。このことで、必要以上の時間を要し、苦慮していた地元調整が軽減され、事業着手が早くなりました。

吉見町の土木工事に関する要望は、限られた予算の中、要望に対応しきれず、未着手の件数が増加しています。島田市の素早い対応を支える要望書の改善や情報の共有化など迅速で効率よく対応ができる方法の検討が必要です。



期 日 平成26年10月28日(火)

視察場所 長野県下高井郡山ノ内町

目 的 山ノ内町における国民健康保険の医療費削減の取り組み等について

地域の力で医療費削減

山ノ内町は、昔からしょっぱい漬物を食べることから脳卒中で亡くなる方が多かった。そのため「減塩運動」「部屋を暖める運動」を推進するために保健師と地域から選出された保健補導員及び食生活改善推進協議会で各家庭から食生活の改善を図る活動で食前野菜の普及にも取り組んでいる。

また特定健診受診率60%実績の裏には①保健補導員が各種検診申込書を配布、回収し、顔の見える受診勧奨をする。②地区ごとの受診



率・医療費等の情報を提供することで意識づけをする。③受診しやすい体制(年間22回実施)に工夫を凝らす。④受診結果は地域に出向き丁寧な説明と保健指導をしている。

吉見町においても「受けなければ損する特定健診」の体制づくりに、地域の力を活用することも考えるべきと感じました。



期 日 平成26年10月29日(水)

視察場所 長野県上伊那郡箕輪町

目 的 箕輪町の子ども育成事業の推進状況について

保護者の視点で子育て支援

箕輪町では、子どもの基礎的な体力、学力、生きる力の低下が危惧されるなか、町の将来を担う子どもの育成を重要課題と位置付け、特色ある事業として、平成15年度から「ひと味ちがう箕輪の子ども育成事業」を実施している。この事業は、健康で知力に富み、国際舞台で活躍できる子どもを目指し、「運動あそび」「英語あそび・英語活動」「読育」「食育」を子どもの発達年齢に応じて幼児から中学生まで一貫して取り組むものである。

子どもの成長を記録できる子育てメモリーブックの配布や町に手厚く配置されている保健師を中心にきめ細かに実施している乳幼児健診、個別相談、ペアレントトレーニング及び出生時や転入時の事務手続きの窓口一本化事業などは、とても参考となる事業である。

また、子育て支援の目指す姿としては、住民満足度の向上であり、最近の住民満足度調査では約80%という結果になっている。箕輪町が推進する子育て支援は行政が保護者の視点で、保護者が安心して子育てできる町を目指している。

吉見町においても将来にわたり、活力ある元気な町づくりのためには、子育て支援は重要であり地域全体で支援していかなければならないと感じました。



平成26年度 埼玉県町村議会議員研修会



平成26年10月17日(金)に県内の町村議会議員を対象にフレサよしみにて開催されました。

講師:時事通信社解説委員 田崎史郎氏

講演:時局展望



第58回 町村議会議長全国大会

平成26年11月12日(水)に東京NHKホールにて、多くの大臣はじめ国会議員参加の下開催されました。



※平成26年12月9日から宮崎議長が埼玉県町村議会議長会の会長に就任しました。

◀ 表紙の題字

平成27年成人式実行委員会代表・長島功太郎さんです。
 成人式を迎え「自立して吉見町を活性化します。」と力強く語ってくれました。



◀ 表紙の写真によせて

2015年元旦
 良い年になりますように、
 家内安全やそれぞれの願いを託し初詣
 吉見観音(安楽寺)にて



編集後記

新年明けましておめでとうございます。

昨年は2月に関東地方を襲った大雪、10年に一度といわれる厳しい寒波等の自然の猛威が農作物に大きな被害を与えました。

迎えた新年。アベノミクスの経済対策が実を結ぶ年になってくれればと願うばかりです。

議会だより編集も、町民の皆さまに見やすく、解りやすく、読んで議会を理解していただけるよう試行錯誤しながら取り組んできた結果「議会報クリニック」で高評を頂きました。

今後さらに研究を重ね、より良い紙面づくりに努力してまいりたいと思います。

本年も良い年になりますように。(荻野)



議会だより編集特別委員会

委員	長尾	崎	豊
副委員	長秋	山真	美
委員	杉	田	しのぶ
委員	荻	野	勇
相談役(議長)	宮	崎	善雄